

<b>Title</b>	正答がないからこそ難しい：報告 1 精神保健福祉分野から(第 5 回ピア・スーパービジョン)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.20-1
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=2221">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=2221</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

その中でもPSWを目指した理由もとても曖昧で、ただなんとなく、とりあえず資格を取っておけば、就職に役に立つという気持ちが強かったように思います。

## ②悩みについて

私がずっと抱えていた悩みは「人間関係」でした。

まず、施設の利用者さんは、みなさん私よりも年上でした。そのため、職員として見てもらえないということがよくあり、他のスタッフと同じことを注意しても、私が言うのと聞いてくれない、年下のくせに…と暗に言われたり、他のスタッフには相談するのに私には誰も相談をしてくれない、私をスタッフ扱いしてくれないということがよくありました。

私は職員として利用者から認められているのか、私はきちんと仕事ができているのか、この仕事はそれを測る物差しはありません。

周りの大人（県や近隣の市の保健師さん）に相談しても所詮他人事、きれいごとばかりを言われ、施設のことは施設で解決して、と言われる始末でした。同僚とは折り合いが悪く、相談できる環境ではありませんでした。

こうして、私は自信も余裕も無くしていきまし

### 報告 1 精神保健福祉分野から 正答がないからこそ難しい 増山 章子

#### ①現在の職業となぜこの仕事を志したのか。

現在は、NPO法人を仲間と立ち上げ、就労継続支援B型の事業を開業する準備をしています。

（2010年5月1日開所）

なぜこの職業を志したのか、とても曖昧になるのだが、幼いころから「なにか人の為になる仕事をしたい」と考えていました。

た。

それなのに私の責任はどんどん増え、その頃の私を知る人は「おどおどして心配」「大丈夫なのか」と思っていたそうです。

自分のことで精一杯なのに、周りからはどんどん要求が増えていく、何で私ばかりこんな思いになるのだろうと押しつぶされそうになっていました。

### ③課題への取り組みと参加者と語りたいこと

私の最大の転機は、今の上司と出会ったことです。

自信を無くしていた私の背を押してくれ、認めてくれた人。「あなたは表出が苦手だけど、よくやっていた」と初めて会った時に言ってもらえた、これは忘れられない言葉です。

ずっと一人で、誰も味方がいないと思っていた私に光を与えてくれた、孤独感から解放された瞬間でした。

余裕がなかったため、視野も狭く、支援らしい支援も出来ていなかった私に、支援とは周りを巻き込み多角的に行うということを体で教えてもらいました。

本人の安定を図るために、家族を動かしてみよう、保健師に訪問を頼もう、周りを動かして支援の輪を広げてみよう、その術を身をもって教えてもらいました。

辛くて仕事に行くことが苦痛だった私が何時し

か仕事を楽しいと思えるようになっていました。

支援は正しい答えがない分、可能性はいくらでもあります。

寄り添いすぎても駄目、こちらの気持ちを押しつけても駄目、駄目でもともと、上手くいったら上々、スタッフだからこうでなければいけないではなく、利用者を自然体で受け止め、決めるのも決めないのも利用者の気持ち次第ということを感じさせてくれました。

私はとても恵まれていたと思います。

上司と出会っていなければ、とっくに仕事を辞めていた、不安や迷いを受け止めてくれる相手に出会えたことは奇跡なのではないかと思っています。（私にはそれくらい重要なことでした。）

ピア・スーパービジョンでは、たくさんの仕事の悩み、不安が吐き出されます。どこにも行き場のなかった思いを仲間で分かち合う場所と私は考えています。

私に何ができるわけではないけど、それぞれの抱えている悩みを聞いてみたいといつも思います。少なくとも辛さを分かち合うことはできますし、私自身もそれで何度も救われたのですから…。

（ましま・あきこ NPO法人来夏 就労継続支援事業所 来夏の立ち上げに関わり2010年5月1日より事業を開始、精神保健福祉士、2004年度聖学院大学人間福祉学科卒業）



左から増山章子さん、河副美春さん